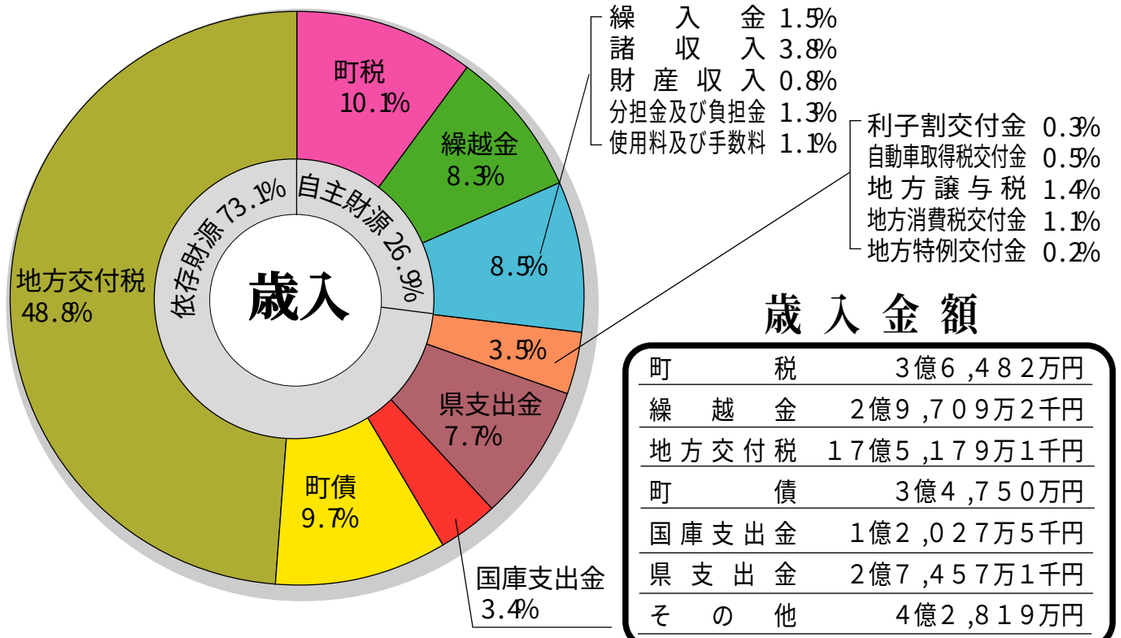
平成１３年度 決算報告

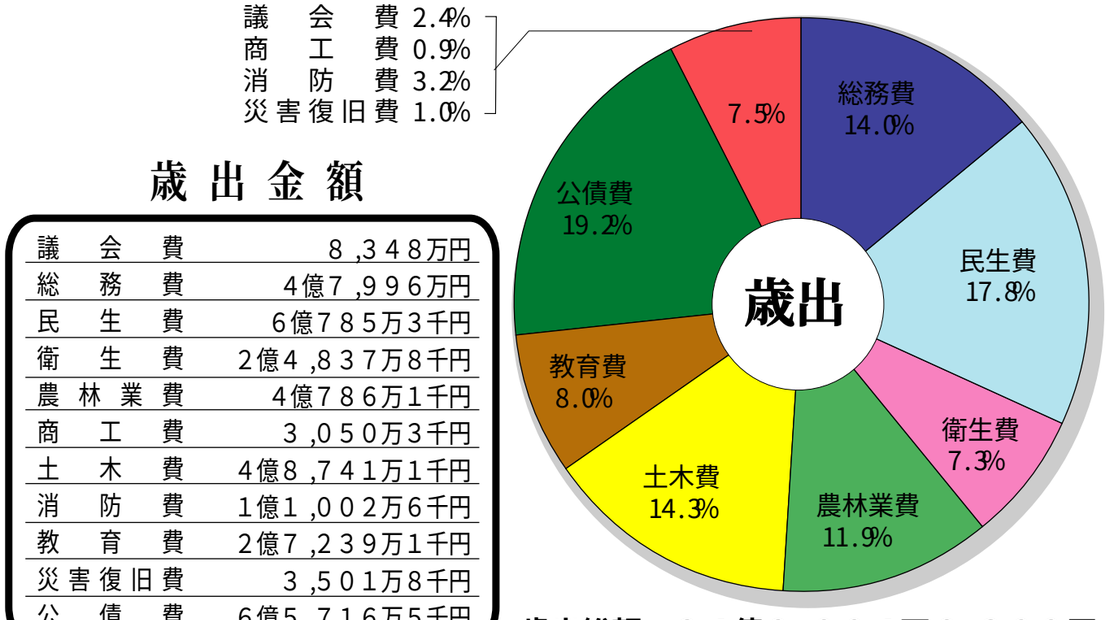
私たちの税金はこのように使われました



歳入金額

町税	3億6,482万円
繰越金	2億9,709万2千円
地方交付税	17億5,179万1千円
町債	3億4,750万円
国庫支出金	1億2,027万5千円
県支出金	2億7,457万1千円
その他	4億2,819万円

歳入総額　３５億８,４２３万９,７５９円



歳出金額

議会費	8,348万円
総務費	4億7,996万円
民生費	6億785万3千円
衛生費	2億4,837万8千円
農林業費	4億786万1千円
商工費	3,050万3千円
土木費	4億8,741万1千円
消防費	1億1,002万6千円
教育費	2億7,239万1千円
災害復旧費	3,501万8千円
公債費	6億5,716万5千円

歳出総額　３４億２,００４万６,３０９円

特別会計決算状況及び町債の状況

会計名	歳入	歳出	実質収支	町債の残高
国民健康保険	6億5,328万7千円	5億7,313万3千円	8,015万3千円	0円
老人保健医療	10億786万3千円	9億6,690万7千円	4,095万5千円	0円
簡易水道事業	4,989万7千円	4,617万円	372万7千円	5億8,245万6千円
介護保険	4億1,588万4千円	4億674万5千円	913万8千円	0円

会計名	収益的収支		資本的収支	
	収入額	支出額	収入額	支出額
中央地区				
簡易水道事業	9,787万1千円	7,109万6千円	1億2,603万7千円	2億2,294万8千円

平成13年度の決算が先の９月定例会で認定されました。決算は、まちづくりのためにどれだけの収入があり、その収入をどのような事業に使ったかを明らかにするものです。今回は、グラフと表を使ってその内容をお知らせします。

町の財政は、一般会計と特別会計の２つに分けることができます。一般会計は、総務費、民生費、農林業費、教育費など町の財政を運営する最も基本となる会計です。

特別会計は、一般会計とは別に、特別な予算をもって事業を行うもので、国民健康保険、老人保健医療、簡易水道事業、介護保険、中央地区簡易水道事業の５つがあります。中央地区簡易水道事業については、公営企業法の適用により収益的収支と資本的収支に分けた事業会計となります。

一般会計の決算額は、歳入が35億８４２３万９千円、歳出が34億２００４万６千円で、差引１億６４１９万３千円となり、繰越すべき財源額１９４０万７千円を差し引いた実質収支は１億４４７８万６千円の黒字となっています。

歳入は大きく分けて町税や繰越金などの自主財源、町債、地方交付税などの依存財源の２つに分けられます。本町は、自主財源の比率が低く、地方交付税が全体の半数近くを占めるなど依存財源が73・1㌽を占め、依然として依存財源型の状況が続いています。

歳出の主なものは、公債費で、健康ふれあいセンター整備事業など今まで実施した大きな事業にかかる償還です。続いて民生費で特別会計への繰出金が主なものです。土木費では、道路の改良工事などが主な事業です。

また、13年度末の町債現在高は、56億２９２万９千円となっており、町民一人当たり１１２万３千円の借金を抱えていることになります。

上の表は、特別会計と企業会計の決算及び町債、事業債の状況を示したものです。